
資料編

目黒区 人権に関する意識調査
調査票

ご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人が、お答えください。ご本人が記入できない場合は、ご家族や援助者の方がご本人と相談しながら、ご本人の立場に立って、回答してください。
2. 特にことわり書きのある場合以外は、すべての方がお答えください。
3. あてはまるものを選び、選択肢の番号に○をつけてください。なお、設問によって、ひとつだけを選ぶもの、あてはまるものすべてを選ぶものなどがありますのでご注意ください。回答が「その他」にあてはまる場合には、その番号を○で囲み、() 内に内容を具体的に記入してください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**10月22日(水)**までに郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。調査票、返信用封筒にはお名前、ご住所を記入しないでください。

●お手元にある「目黒区人権に関する意識調査」へのご協力をお願い（調査実施のご案内）
に印字されている **あなたのID と パスワード** を記入してください。

ID _____ パスワード _____

1 人権問題全般について

問1. あなたは人権についてどのような考えですか。（○は1つ）

1. 一人ひとりの人権は、何よりも尊重されなければならない
2. できる限り、一人ひとりの人権を尊重するべきである
3. 社会生活においては、一人ひとりの人権がある程度制約されてもやむを得ない
4. 人権という名のもとに、権力の濫用が見られるので、むしろ制限するべきである
5. わからない

問2. あなたは、無意識のうちに周囲の人とともに、自分より劣ったり、弱い立場にあると思う人に対して差別的な行動や発言をすることがありますか（ありましたか）。（○は1つ）

1. よくある
2. 時々ある
3. あまりない
4. ない

問3. あなたは、他人から受けた不当な扱いや日ごろの劣等感等から、自分より劣ったり、弱い立場にあると思う人に対して差別的な行動や発言をすることがありますか（ありましたか）。（○は1つ）

1. よくある
2. 時々ある
3. あまりない
4. ない

問4. あなたは、これまでに自分や家族の「人権」が侵害されたと感じたことがありますか。
（あてはまるものすべてに○、その中で主なもの1つに◎）

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 男女（性）差別 | 11. 学歴差別 |
| 2. 子どもへのいじめ・虐待 | 12. 犯罪被害者とその家族への差別 |
| 3. 高齢者への差別・虐待 | 13. 職業差別 |
| 4. 障害者への差別・虐待 | 14. 性的マイノリティに関する差別 |
| 5. 部落差別 | 15. DV（ドメスティック・バイオレンス） |
| 6. アイヌの人々への差別 | 16. さまざまなハラスメント（パワーハラスメント、カスタマーハラスメントなど） |
| 7. 外国人差別 | 17. 刑を終えて出所した人への差別 |
| 8. 感染症に関連した感染者や患者等への差別 | 18. 特に受けたことはない |
| 9. SNSなどインターネット上の誹謗中傷 | 19. その他 |
| 10. プライバシーの侵害 | () |

次のページの
問5へ

問4で「1」～「17」「19」を選択された方(「人権」が侵害されたと感じたことがあるとお答えの方)にうかがいます。

問 4-1. では、最もひどい人権侵害に対して、どのように対応しましたか。(Oはいくつでも)

1. 相手に抗議した	6. 学校に相談した
2. 身近な人に相談した	7. 弁護士に相談した
3. 警察に相談した	8. 法務局、人権擁護委員に相談した
4. 都や区役所などの公的機関に相談した	9. 黙って我慢した
5. 民間団体・ボランティアに相談した	10. その他()

問 5. あなたは、現在の社会で、次のような差別や人権侵害が存在すると思いますか。(ア)～(ト)の各項目についてお答えください。
(ア～トのそれぞれについて、あてはまる「1～3」にOを1つ)

	多く存在する	ある程度存在する	存在しない
例：男女(性)差別	①	2	3
(ア) 男女(性)差別	1	2	3
(イ) 子どもへのいじめ・虐待	1	2	3
(ウ) 高齢者への差別・虐待	1	2	3
(エ) 障害者への差別・虐待	1	2	3
(オ) 部落差別	1	2	3
(カ) アイスの人々への差別	1	2	3
(キ) 外国人差別	1	2	3
(ク) 感染症に関連した感染者・患者等への差別	1	2	3
(ケ) SNS などインターネット上での誹謗中傷	1	2	3
(コ) フライバシーの侵害	1	2	3
(サ) 学歴差別	1	2	3
(シ) 犯罪被害者とその家族への差別	1	2	3
(ス) 職業差別	1	2	3
(セ) 性的マイノリティに関する差別	1	2	3

	多く存在する	ある程度存在する	存在しない
(ソ) DV (ドメスティック・バイオレンス)	1	2	3
(タ) さまざまなハラスメント (パワー・ハラスメント、カスターマー・ハラスメントなど)	1	2	3
(チ) 北朝鮮による拉致問題	1	2	3
(ツ) 刑を終えて出所した人への差別	1	2	3
(テ) 災害に伴う人権侵害 (風評に基づく偏見や差別など)	1	2	3
(ト) 人身取引 (性的サービスや労働の強要)	1	2	3

問 6. あなたは、次の4つの法律が施行されていることを知っていますか。知っている法律にOをつけてください。(Oはいくつでも)

1. 障害者差別解消法	4. アイヌ施策推進法
2. ハイトスビーチ解消法	5. どれも知らない
3. 部落差別解消推進法	

1 「障害者差別解消法」2016(平成28)年施行
2 「本邦外出生者に対する不当な差別の撤廃の促進に向けた取組の推進に関する法律」2016(平成28)年施行
3 「部落差別の解消の推進に関する法律」2016(平成28)年施行
4 「アイヌの人々の誇りを尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」2019(令和元)年施行

問 7. あなたは、公益のために事業者の法令違反を通報した労働者などを守るために、公益通報者保護制度があることを知っていますか。(Oは1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

2 男女平等に関する意識について

問 8. 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(Oは1つ)

1. 賛成	4. 反対
2. どちらかといえば賛成	5. わからない
3. どちらかといえば反対	

問 9. 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどう思いますか。(Oは1つ)

1. 職業をもちたいほうがよい

2. 結婚するまでは、職業をもつほうがよい

3. 子どもができるまでは、職業をもつほうがよい

4. 子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい

5. 子どもができたから職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつほうがよい

6. わからない

7. その他 ()

問 10. 次のそれぞれの分野で、男女は平等になっていると思いますか。(ア)～(ク)の各項目についてお答えください。(ア～クのそれぞれのについて、あてはまる「1～6」にOを1つ)

	男性が優遇されている	男女平等である	女性が優遇されている	わからない		
(ア) 家庭生活(家事・育児・介護)	1	2	3	4	5	6
(イ) 労働・雇用・職場	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育	1	2	3	4	5	6
(エ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(オ) 法律・制度	1	2	3	4	5	6
(カ) 社会通念・習慣・しきたり	1	2	3	4	5	6
(キ) 地域の活動や行事	1	2	3	4	5	6
(ク) 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問 11. 相手を不快にさせる性的な言動を「セクシュアル・ハラスメント」といいます。あなたはこの3年間で、セクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。(Oは1つ)

1. 受けた

2. 受けていない

問 11 で「1. 受けた」を選択された方にうかがいます。

問 11-1. あなたは、セクシュアル・ハラスメントをどこで受けましたか。(Oはいくつでも)

1. 職場

2. 学校

3. 地域社会

4. その他 ()

問 12. 女性の人権が守られていないと思うのは、どのような場合ですか。(Oは2つまで)

1. 男女の固定的な役割分担意識(「家事は女性」等)による差別的取扱いがある

2. 職場における差別待遇(女性が管理職になりにくい、男女間で賃金格差がある、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠、出産等を理由とする不利益取扱い等)がある

3. セクシュアル・ハラスメントを受ける

4. DV(ドメスティック・バイオレンス)を受ける

5. 売春・買春が行われている

6. ストーカーの被害を受ける

7. アダルトビデオ等への出演の強要を受ける

8. SNS や広告等メディアで、内容に関係なく女性の水着姿や裸体等がむやみに使用される

9. 特にない

10. その他 ()

問 13. 女性の人権を守るため、どのようなことを行えばよいと思いますか。(Oは2つまで)

1. 女性のための相談・支援体制を充実する

2. 性別にかかわらず、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境を整備する

3. ささまざまな意思決定や方針決定の場への女性の参画を促進する

4. 女性の人権を守るための啓発広報活動を進める

5. 男女平等に関する教育を充実する

6. 法律や制度を整備する

7. わからない

8. その他 ()

3 子どもの人権について

問 14. 目黒区が制定した「子ども条例」や「いじめ防止対策推進条例」を知っていますか。(ア、イのそれぞれについて、あてはまる「1～3」にOを1つ)

	内容を知っている	聞いたことはある	知らない
(ア) 子ども条例	1	2	3
(イ) いじめ防止対策推進条例	1	2	3

問 15. 次にあげる子どもの人権問題で、特にひどいと思うものはどれですか。 (○は2つまで)

1. 児童・生徒がみんなから仲間はずれにされたり、暴力を振るわれたり、差別的な扱いを受ける けたりする
2. 児童・生徒が教師から体罰や暴言を受ける
3. 学校の部活動などで、理不尽な指図やシゴキを受ける
4. 児童・生徒が性的な対象として扱われる
5. 保護者が子どもに対して身体的・精神的な虐待や、養育を放棄（ネグレクト）する
6. 保護者が子どもに自分の考えを押しつける
7. 子どもが経済的な理由で十分な食事や教育の機会を得られない（子どもの貧困）
8. 子どもが家族の介護や家事を担うことで、学業や友人関係などに支障が出る（ヤングケアラー）
9. 特にない
10. その他（ ）

問 16. あなたがお住まいの地域の子どもの保護者等から虐待を受けていると思われる場合、あなたならどうしますか。 (○は1つ)

1. 警察・児童相談所・区役所や民生・児童委員などに連絡する
2. 直接、その家族に確かめてみる
3. 何か行動を起こしたいが、どうしたらよいかわからない
4. 自分には関係がないので特に何もしない
5. 近隣住民に相談したり、SNS で発信する
6. その他（ ）

問 17. 「子どもを一人の人間として尊重し、子どもが主体性や自立心を伸ばすことのできる社会が望ましい」という考え方について、あなたはどの思いですか。 (○は1つ)

1. 全的に賛成である	3. あまり賛成ではない
2. ある程度賛成である	4. 反対である

問 18. 子どもの人権を守るため、大人たちはどのようにするべきだと思いますか。 (○は2つまで)

1. 子どもが周囲から孤立しないような環境をつくる
2. 学校、その他で子ども同士のいじめを見逃さないようにする
3. 子どもの自主性や意見を尊重し、保護者や学校の考え方を一方的に押しつけないようにする
4. 教師や保護者の体罰をなくようにする
5. 保護者を含む大人に対し、部活動などで、節度のある練習が行われるようにする
6. 子どもを一人の人間として尊重する教育や意識啓発に力を入れる
7. 児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする
8. 家族そろって過ごす時間を大切にし、子どもの話をよく聞く
9. 子どもが適切な医療や福祉を受けられるようにする
10. わからない
11. その他（ ）

4 高齢者の人権について

問 19. 高齢者の人権が守られていないと思うのは、どのような場合ですか。 (○は2つまで)

1. 介護等のサービスを受けるとき、本人への十分な説明がなされていない
2. 病気などになったとき、十分な看護や介護が受けられない
3. アパートなど住宅への入居が困難である
4. まちの中で暮らしていくのに不便が多い
5. 家庭や地域社会から孤立している
6. 高齢者に対して周囲の人の温かい心が欠けている
7. 知識や経験を生かす場が乏しい
8. 経済的な保障が不十分である
9. 振り込め詐欺等の消費者被害にあう
10. 看護や介護において嫌がらせや虐待を受ける
11. 特にない
12. その他（ ）

問 20. 「高齢者も他の人々とともに地域の中で暮らしていきける社会が望ましい」という考え方について、あなたはどの思いですか。 (○は1つ)

1. 全的に賛成である	3. あまり賛成ではない
2. ある程度賛成である	4. 反対である

問 21. 高齢者の人権を守るため、どのようなことを行えばよいと思いますか。 (〇は2つまで)

1. 高齢者を大切にすることを育むため、意識啓発を進める

2. 高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、「在宅サービス」を充実する

3. 身体機能の低下した高齢者にも優しいまちづくりを進める

4. 家族や隣人、ボランティアなど地域で高齢者を支えていく仕組みをつくる

5. 高齢者の雇用を促進する

6. 高齢者の生きがいづくりを支援する

7. 高齢者向けの住宅や介護施設を確保する

8. わからない

9. その他 ()

5 障害者の人権について

問 22. 障害者の人権が守られていないと思うのは、どのような場合ですか。 (〇は2つまで)

1. 就職が困難である

2. 結婚が困難である

3. アパートなど住宅への入居が困難である

4. まちの中で暮らしていくのに不便がある

5. 地域社会から孤立している

6. 障害者に対して周囲の人の理解が欠けている

7. 看護や介護において嫌がらせや虐待を受ける

8. 特にない

9. その他 ()

問 23. 「障害の有無によって分けて分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いともに生きていく社会（共生社会）」という考え方について、あなたはどのように思いますか。 (〇は1つ)

1. 全面的に賛成である

2. ある程度賛成である

3. あまり賛成ではない

4. 反対である

問 24. 障害者の人権を守るため、どのようなことを行えばよいと思いますか。 (〇は2つまで)

1. 雇用促進など就労の支援

2. 障害者が安心して生活を送れるよう、在宅サービスや福祉施設を充実する

3. 障害者が使いやすい道路、施設などの環境整備

4. 障害者が参加しやすいような行事の充実

5. 障害者の人権を守るための教育・啓発活動の推進

6. 障害者が自己決定することを支援する仕組みの充実

7. わからない

8. その他 ()

6 部落差別(同和問題)について

問 25. あなたは、日本の社会に部落差別（同和問題）といわれる人権侵害の問題があることを知っていますか。 (〇は1つ)

1. 知っている

2. 知らない

問 26. 被差別部落（同和地区）といわれ、差別を受けている地区があることを知っていますか。 (〇は1つ)

1. 知っている

2. 知らない

次のページの
問 27へ

問 26で「1. 知っている」を選択された方にかかいます。

問 26-1. それは、いつごろ知りましたか。 (〇は1つ)

1. 小学校に入学する前（6歳未満）

2. 小学生の頃（6～12歳未満）

3. 中学生の頃（12～15歳未満）

4. 高校生の頃（15～18歳未満）

5. 18歳以降

6. 覚えていない

問 26 で「1. 知っている」を選択された方にうかがいます。

問 26-2. 初めて知ったのは、どのようにしてですか。 (○は1つ)

1. 父母や家族から	7. 区の広報紙・パンフレットから
2. 近所の人から	8. テレビ・新聞・本などから
3. 学校の友達から	9. 近くに被差別部落があったから
4. 職場の人から	10. インターネットから
5. 学校の授業で	11. 覚えていない
6. 講演会・研修で	12. その他 ()

問 26 で「1. 知っている」を選択された方にうかがいます。

問 26-3. 「被差別部落」「同和地区」という言葉からどのような印象を受けますか。(○はいくつでも)

1. 昔から差別されてきた人が多く住んでいる	
2. 人種や民族が違う人が住んでいる	
3. 特定の職業についている人が多く住んでいる	
4. 人と人との結びつきが強い地域	
5. 間違った意識を持った人が多い	
6. 人権に関する知識や、偏見・差別に気づく感覚を持つ人が多い	
7. 所得の低い人が多く住んでいる	
8. 特定の印象は受けない	
9. わからない	
10. その他 ()	

問 27. あなたが親しく付き合っている隣近所の人や「被差別部落（同和地区）」出身の人であると感じた場合、あなたはどのように感じますか。(○は1つ)

1. これまでと同じように、親しく付き合っていくと思う
2. できるだけ付き合いを避けていくと思う
3. 付き合いをやめてしまおうと思う
4. わからない

【結婚についておたずねします】

問 28. あなたの身内の方の結婚相手が「被差別部落（同和地区）」出身であることがわかった場合、あなたはどのように感じますか。(○は1つ)

1. これまでと同じように、親しく付き合っていくと思う
2. できるだけ付き合いを避けていくと思う
3. 付き合いをやめてしまおうと思う
4. わからない

問 29. もしも、あなたにお子さんがいるとして、そのお子さんの結婚相手が「被差別部落（同和地区）」出身の場合、あなたはどのように感じますか。(○は1つ)

1. 結婚に賛成する
2. 賛成はしないが、結婚する2人が決めたことなので仕方がないと思う
3. 結婚には反対する
4. わからない

【就職についておたずねします】

問 30. ある会社で採用試験の際に、出身地や家族の状況などを、ひそかに興信所などを使って調べる身元調査をしています。あなたはどのように感じますか。(○は1つ)

1. 採用は本人の能力と適性のみによって決められるべきもので、身元調査は必要ない
2. 自分ではすべきではないと思うが、会社の方針なら仕方がない
3. 自分ではどうとも思わないが、会社の方針なら仕方がない
4. 会社のためになることから、身元調査はすべきである

問 31. あなたが勤めている会社で身元調査をしているとします。あなたはどのように感じますか。(○は1つ)

1. 採用は本人の能力と適性のみによって決められるべきもので、身元調査は必要ない
2. 自分ではすべきではないと思うが、会社の方針なら仕方がない
3. 自分ではどうとも思わないが、会社の方針なら仕方がない
4. 会社のためになることから、身元調査はすべきである

問 32. 部落差別（同和問題）解決のために、今後どうすればよいと思いますか。(○は2つまで)

1. 行政がもっと積極的に事業や教育・啓発などに施策を講じ、差別をなくすよう取り組みが必要がある
2. 差別しないよう、させないよう、人権尊重の意識を個人個人がもっと自覚する必要がある
3. 被差別部落（同和地区）の人たちが差別をなくすよう行政や被差別部落以外の人に積極的に働きかける必要がある
4. 差別は自然になくなっていくので、口に出さず、そっとしておくべきだ
5. どのようにしても差別はなくなるらない
6. わからない
7. その他 ()

7 外国人の人権について

問 33. 次にあげる外国人の人権問題で、特にひどいと思うものはどれですか。 (Oは2つまで)

1. 就職が困難である
2. 不当に解雇されたり、低賃金で働かされたりするなど労働条件が悪い
3. 結婚差別を受けることがある
4. 地域社会になかなか受け入れてもらえない
5. 店舗等への入店や利用を拒否されることがある
6. アパートなど住宅への入居が困難である
7. ハイトスピーチといわれる特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動がある
8. 特にない
9. その他 ()

問 34. 外国人（自分とは異なる国籍・民族）が、あなたの隣に引越してきた場合、あなたはどのように思っていますか。 (Oは1つ)

1. 好ましい
2. 自分と同じ国籍・民族の人が越してくるのと変わらない*
3. 好ましくない
4. わからない

*日本国籍以外の方が回答する場合は、選択肢2を「日本人や自分と同じ国籍・民族の人が越してくるのと変わらない」と読み替えてください。

問 35. 外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (Oは2つまで)

1. 日本以外の文化や生活習慣などへの理解を深める
2. 法律や制度を整備する
3. 法律や制度がきちんと機能するような仕組みをつくる
4. わからない
5. その他 ()

問 36. あなたは、ヘイトスピーチといわれる差別的言動について、どう思いますか。 (Oは1つ)

1. 不愉快で許せない
2. 良くないと思う
3. 特に問題はない
4. 自分には関係ない
5. その他 ()

8 感染症と人権について

問 37. 「HIV や新型コロナウイルスをはじめ、さまざまな感染症の感染者や患者等を差別することなく、ともに社会の中で生きていくことが望ましい」という考えについて、あなたはどのように思いますか。 (Oは1つ)

1. 全面的に賛成である
2. ある程度賛成である
3. あまり賛成ではない
4. 反対である

問 38. さまざまな感染症の感染者や患者等の人権を守るためには、行政は、どのようなことを行えばよいと思いますか。 (Oは2つまで)

1. 感染者や患者等のプライバシーの保護
2. 感染症についての正確な情報を提供し、偏見・差別の解消に努める
3. 感染者や患者等への適切な相談・カウンセリングの実施
4. 治療・地域における生活支援体制の整備
5. 感染症流行時に迅速に医療機関にかかることができるよう、医療体制の強化に努める
6. わからない
7. その他 ()

9 インターネットに関する人権上の問題点について

問 39. あなたが、インターネットに関することで、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。 (Oは2つまで)

1. 他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現等、人権を侵害する情報を掲載すること
2. SNS などによる交流が犯罪を誘発する場となっていること
3. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
4. ネットボルノが存在すること
5. プライバシーに関する情報が掲載されること
6. 差別や偏見を助長するフェイクニュース（虚偽の情報）やデマが拡散されること
7. 特にない
8. その他 ()

問 40. あなたは、インターネットによる人権侵害を防ぐためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (Oは2つまで)

1. インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する 2. インターネット利用者やプロバイダ等に対して、正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する 3. プロバイダに対し情報の停止・削除を求める 4. 違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する 5. インターネット上のフェイクニュース（虚偽の情報）を検証する仕組み（ファクトチェック）を整備する 6. わからない 7. その他（ ）

10 性的マイノリティに関する人権について

問 41. 性的マイノリティを理由とする人権問題で、特にひどいと思うものはどれですか。 (Oは2つまで)

1. 就職・職場で不利な扱いを受ける 2. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受ける 3. 差別的な言動をされたり、しつこく見られたり、避けられたりする 4. 家族や友人、地域社会になかなか受け入れてもらえない 5. 店舗等への入店や利用を拒否されることがある 6. アパートなど住宅への入居が困難である 7. 特にない 8. その他（ ）

問 42. 性的マイノリティの人権を守るため、どのようなことを行えばよいと思いますか。 (Oは2つまで)

1. 性的マイノリティのための相談・支援体制を充実する 2. 性的マイノリティについての正しい理解を深めるための教育・啓発活動を進める 3. 法律や制度を整備する 4. 固定観念的な男女意識に基づいた表現や性の商品化などがあることから、多様なメディアからの情報を主体的に読み解き、批判し、表現する能力を育成する 5. 一人ひとりが性的マイノリティに配慮する 6. わからない 7. その他（ ）
--

11 人権尊重社会の実現について

問 43. あなたは、10 年前に比べて、ご自身を含め区民一人ひとりの人権についての意識が高くなっていると思いますか。 (Oは1つ)

1. そう思う 2. そう思わない 3.どちらともいえない

問 44. 区民一人ひとりが尊重され、差別や偏見のない目黒区の実現に向けて、あなたは今後どのような取組が必要だと思いますか。 (Oは2つまで)

1. 区が区民向けに啓発活動を行う 2. 学校で児童・生徒に対して行う人権教育を充実させる 3. 教職員や保健・医療・福祉関係者、公務員など人権問題に深く関わる職業に従事する人の人権意識を向上させる 4. 企業が社員に対して研修等を行う 5. 人権問題に対する相談窓口や救済策を充実させる 6. 差別や偏見をなくするための区の施策を充実させる 7. 区民や地域のNPO 法人などが人権尊重のための取組を行う 8. 特にない 9. わからない 10. その他（ ）

* フェイスシート

F 1. あなたの性別についてお答えください。 (Oは1つ)
(戸籍上の性別にかかわらず、現在自分が認識している性別。)

1. 男性	2. 女性	3. 1、2以外 ()
-------	-------	-----------------

F 2. あなたの年齢は、おいくつですか。 (Oは1つ)

1. 18・19 歳	3. 30～39 歳	5. 50～59 歳	7. 70 歳以上
2. 20～29 歳	4. 40～49 歳	6. 60～69 歳	

F 3. あなたの主なお仕事は、次のどれにあたりますか。 (Oは1つ)

1. 自営業	3. 学生	5. 無職
2. 勤め	4. 主婦・主夫	6. その他 ()

F 4. あなたは結婚（事実婚を含む）されていますか。 (Oは1つ)

1. 結婚している	2. 既婚（別離）	3. 既婚（死別）	4. 結婚していない
-----------	-----------	-----------	------------

F4で「1. 結婚している」を選択された方にうかがいます。

F4-1. あなたのお宅は、共働きのお宅ですか。 (Oは1つ)

1. 共働き	4. 夫婦とも無職
2. 夫だけ働いている	5. その他 ()
3. 妻だけ働いている	

アンケート調査は以上で終わります。お忙しいところ、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、10月22日(水) までに郵便ポストにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

目黒区人権に関する意識調査 報 告 書

令和8年3月発行

【編集・発行】目黒区総務部人権政策課

〒153-8573 東京都目黒区上目黒 2-19-15

TEL:03-5722-9214 FAX:03-5722-9469

【編集協力】株式会社 社会構想研究所

(再生古紙配合用紙を使用しています。)